第2学年

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
すきなこと なあに	絵	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	知 好きなことの形や色を工夫して描く。	知 絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。
					技 表したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。
				思 描きたい場面を考える。	発 経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				☆ 学 好きなことを思い浮かべながら描くことをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品の表したいことや表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。
					主 自分が好きなことを絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
こんには むぎゅたん	立	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	知 ひねったりつまんだりして形を工夫する。	知 手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。
					技 粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。
				☆ 思 粘土の形を変えながら、想像した生き物を考える。	発 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				学 粘土の触り心地を感じながらつくることをたのしむ。	鑑 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形のよさや面白さ、表し方などについて感じ取って、自分の見方や感じ方を広げている。
				主 自分らしい「むぎゅたん」を表すことに興味をもち、粘土に積極的に働きかけながら立体に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
クレヨン、パスで らんらんランド	絵	4	クレヨンやパスでぼかしたりひっかいたりして、感じたことや思いついたことを絵に表す。	☆ 知 クレヨンやパスの表し方を工夫する。	知 ぼかしたり引っかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやパスで表す形や色に気づいている。
					技 いろいろな表し方を試したり組み合わせたりしながら、表し方を工夫して表している。
				思 こすってぼかしたり引っかいたりして描きたいもの考える。	発 クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				学 ぼかしたり引っかいたりして描く絵をたのしむ。	鑑 クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。
				主 クレヨンやパスをぼかすことや引っかいたりすることで絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
さらさら どろどろ	遊	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知 砂や土を掘ったり丸めたり並べたりする。	知 自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。
					技 砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつづけている。
				思 砂や土でどんなことができるか考える。	発 砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。
				☆ 学 砂や土の触り心地をたのしむ。	鑑 砂や土の造形的な面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				主 砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
おはながみ かさねて すかして	工	4	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知 お花紙の並べ方や重ね方を工夫する。	知 作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じや、重なったお花紙の形や色などに気づいている。
					技 お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				☆ 思 並べたり重ねたりしたお花紙から、好きな飾りを考える。	発 お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				主 お花紙を並べたり重ねたりして飾ることに興味をもち、お花紙の触り心地や色合いを味わいながら、お花紙で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	

				※ 心をこめていろいろな形や色を工夫し、好きな色や形を表現する。	鑑 お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 お花紙の手触りや変化をたのしむ。	主 お花紙の触り心地や変化を味わいながら、飾りをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
つんでならべてびっくりしタワー	立	2	粘土を積んだり並べたりしながら、つくりたいものをつくる。	知 粘土の積み方や並べ方を工夫する。	知 見たことがない形の「びっくりしタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。
					技 粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。
				思 積んだり並べたりした形から、つくりたいものを考える。	発 粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。
				鑑 互いの作品の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学 粘土を積んだり並べたりして、つくることをたのしむ。	主 粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、つくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ならべて見つけていろいろ色水	遊	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知 色水をつくり方や並べ方を工夫する。	知 色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときや並べたときの形や色に気づいている。
					技 いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。
				☆ 思 色水をつくりながら、どんなことができるか考える。	発 つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑 自分や友達の活動の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学 色水をつくったり並べたりすることをたのしむ。	主 色水をつくったり並べたりすることに興味をもち、色水で思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ふたりはなかよし	立	2	紙コップや紙づつを組み合わせて、二人組をつくる。	知 紙コップや紙づつの形や飾りのつくり方を工夫する。	知 紙コップや紙づつなどの組み合わせを考えながら、形や色などに気づいている。
					技 手や体全体の感覚を働かせながら、自分の表したい二人組の表し方を工夫して表している。
				思 どんな二人組にするか考える。	発 紙コップや紙づつの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつき、どのように表すか考えている。
				鑑 自分や友達の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学 仲良しの二人組をつくったのしむ。	主 仲良しの二人組をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
どうぶつさんと いっしょに	絵	4	見たり遊んだりした動物を思い出して絵に表す。	☆ 知 描きたい場面になるように、形や色を工夫する。	知 動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。
					技 表したいことをもとに描き方を工夫して表している。
				思 描きたい場面やそのときの気持ちを考える。	発 動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑 自分や友達の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
				学 動物といっしょにいる場面を描くことをたのしむ。	主 動物との関わりを思い出して、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
				☆ 知 紙けん玉の形や色、つくり方を工夫する。	知 紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。
					技 すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
					発 仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えている。

ジャンプ！キャッチ！紙けん玉	工	4	仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊ぶ。	思	仕組みからつくりたい紙けん玉を考える。	鑑	友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学	紙けん玉をつかったり、遊んだりすることをたのしむ。	主	けん玉をつくって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。
えのぐじま	絵	2	筆をのびのびと動かして描きたい「えのぐじま」を描く。	知	筆使いや色の組み合わせを工夫する。	知	筆をのびのびと動かして描くことを通して「えのぐじま」の形や色などに気づいている。
				技		技	筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら表し方を工夫して表している。
				思	描きたいえのぐじまを考える。	発	「えのぐじま」などの言葉や絵の具の感触から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	絵の具で描かれた形や色などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆ 学	絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしむ。	主	絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
どんどんかわるよ新聞紙	遊	2	体全体を使って、新聞紙で活動する。	知	新聞紙のねじり方、裂き方などを工夫する。	知	新聞紙に働きかけることを通して、変化する形などに気づいている。
				技		技	新聞紙を折ったり、ねじったり、裂いたりするなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。
				☆ 思	新聞紙をねじったり裂いたりしながら、どんなことができるか考える。	発	新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑	さまざまに変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、自分の見方や考え方を広げている。		
				学	新聞紙の手触りなどを感じながら、変化させることをたのしむ。	主	新聞紙の触り心地を味わい、手や体全体で新聞紙に働きかけて変化させる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
ぎゅっとしたい！わたしの「お友だち」	工	4	紙をもんで柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」をつくる。	☆ 知	袋の形や色、材料の使い方を工夫する。	知	紙をもんで柔らかくして「お友だち」をつくることを通して、紙の形や色などに気づいている。
				技		技	手や体全体の感覚を働かせ、紙を柔らかくして自分の表したい「お友だち」の表し方を工夫して表している。
				思	柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」を考える。	発	柔らかくなった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつき、形や色などどのように表すか考えている。
				鑑	「お友だち」の形や色、感触などについて、感じ取ったり味わったりし、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	「お友だち」をつくることをたのしむ。	主	自分の「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
えのぐひっぱレインボー	絵	4	厚紙や段ボールの切れ端などで絵の具をのぼし、できた模様から絵に表す。	知	絵の具ののぼし方を工夫する。	知	自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。
				技		技	絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。
				思	のぼした絵の具の形や色から表したいことを考える。	発	厚紙でのぼした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
				鑑	自分や友達の作品の面白さやたのしさを、表したいことなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆ 学	絵の具をのぼして描くことをたのしむ。	主	つくりだす喜びを味わい、絵の具をのぼして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
コップくるくるチェンジ	工	2	紙コップに透明なコップを重ねて回転させることで絵が変化する仕組みから、表したいものをつくる。	☆ 知	絵の動かし方や、つくり方を工夫する。	知	紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づいている。
				技		技	仕組みを試しながら、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
				発	仕組みから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				甲	重ねて回すと絵が変化する仕組みから、表したいものを考える。		

				心 裏はくちやと紙が交じり合はるは組むが、表したいことを考える。	鑑 自分や友達の作品を動かしたり見たりしながら、いろいろな表し方の面白さやたのしさを感取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 つくって動かす活動をたのしむ。	主 仕組みに関心をもち、表し方を考えながら、つくって動かす学習活動にたのしく取り組もうとしている。
たからものものがたり	鑑	2	宝物が大切な理由を考えて、友達に伝える。	知 宝物の形や色などに気づく。	知 身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。
					技 自分の気持ちをカードに工夫して表している。
				☆ 思 大切な宝物にしている理由を考える。	発 身近なものにある思い出などから自分のイメージをもっている。
					鑑 身近にあるものの造形的な面白さやたのしさを感取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 宝物を見て、話し合う活動をたのしむ。	主 身近にあるものに関わり、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。
しぜんからのおくりもの	遊	2	自然の材料を集め、つないだり組み合わせたりして活動する。	知 材料の並べ方や重ね方など、組み合わせを工夫する。	知 自然の材料を集め、並べたり組み合わせたりすることを通して、材料の形や色などに気づいている。
					技 自然の材料を並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせて、活動を工夫してつくっている。
				思 材料の形や色から、どんなことができるか考える。	発 自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
					鑑 活動によって表れた造形的な面白さやたのしさから、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学 自然の材料でたのしく活動する。	主 自然の材料の形や色に関心をもち、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
わくわくカッターナイフ	工	2	カッターナイフを使っていろいろな線を切る活動をする。	☆ 知 カッターナイフの使い方に慣れる。	知 カッターナイフで紙を切ることを通して、切ってきた形や色に気づいている。
					技 安全で正しいカッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。
				思 切ってきた形から、つくりたいもの考える。	発 カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					鑑 形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 紙を切るたのしさを味わう。	主 カッターナイフで紙を切る心地よさを味わい、紙を切る学習活動にたのしく取り組もうとしている。
まどのある たてもの	工	4	色画用紙や色造形紙をカッターナイフで切って窓を開けるなどして、建物をつくる。	知 建物の形や、窓の開け方を工夫する。	知 カッターナイフで紙を切って窓や扉のある建物をつくることを通して、建物や窓や扉の形や色などに気づいている。
					技 カッターナイフの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。
				☆ 思 どんな形に切るか考えたり、どんな建物にするか考えたりする。	発 カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					鑑 自分や友達の作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 カッターナイフで紙を切ってつくることをたのしむ。	主 カッターナイフで紙を切る快さを味わい、カッターナイフで紙を切って表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
あなでつながる二つのせかい	絵	4	画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表す。	知 穴を生かした絵の描き方を工夫する。	知 穴でつながる二つの世界を描くことを通して、そこに生まれる形や色に気づいている。
					技 穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。
				☆ 思 表と裏の二つの世界を考える。	発 穴でつながる二つの世界を想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					鑑 二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 友達と作品を見せ合ってたのしむ。	主 自分や友達の作品のよさを味わい、穴でつながる二つの世界を描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。

たくさん うつそう わたしの 形	絵・版	4	型紙をつくって並べ方や重なりなどを工夫して版画に表す。	☆ 知	繰り返しや重なりなど、写し方を工夫する。	知	版を写す活動を通して、写るものの形や色に気づいている。
				思	写し方を試しながら、表したいことを考える。	技	版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。
				鑑		発	たくさんあったら面白い形を考え、造形的な面白さやたのしさを感じながら、どのように表すか考えている。
				学	型紙版画で写すことをたのしむ。	鑑	自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
まごころメダルを プレゼント	工	4	紙粘土でメダルをつくって、気持ちを伝える。	知	気持ちが伝わるようにメダルの形や色を工夫する。	知	紙粘土の型押しをしたり絵の具で着色したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。
				思	贈る人のことを思い浮かべてメダルを考える。	技	紙粘土や絵の具の扱いに慣れ、表し方を工夫して表している。
				鑑		発	贈る人のことを思い浮かべてメダルをイメージし、どのように表すか考えている。
				☆ 学	メダルで気持ちを伝えることをたのしむ。	鑑	自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
かぶって へんしん	工	6	お花紙を重ねて貼り、張り子のお面をつくって遊ぶ。	知	形や色、紙の貼り方を工夫する。	知	お面をつかったり、かぶったりすることを通して、お花紙でつくるお面の形や色などに気づいている。
				思	つくりたいお面を考える。	技	お花紙や身近な材料などの扱いに十分に慣れるとともに、紙の貼り方を工夫して表している。
				鑑		発	なりたもののイメージを広げて、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。
				☆ 学	お面をつかったりかぶったりしてたのしむ。	鑑	お面をつくることやかぶることを通して、造形的な面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				主	お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつくってかぶって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。		